

6. お長屋（鹿児島県有形文化財建造物垂水市指定史跡）

林之城の関連施設として建てられたもので、規模が正面15間（約30メートル）、梁間3間半（約6メートル）という細長い形状からお長屋と呼ばれます。江戸初期に建造された「多聞櫓（たもんやぐら）」と呼ばれる構造を持ち、県内では他に類例がない建造物です。

当初は侍詰所（下級武士の詰所）だったと言われています。兵具蔵としても使われ、明治9年（1875）には「私学校垂水分教場」として剣術・漢学が教授されました。その後小学校の校舎や役場仮庁舎等としても使用されました。もともとは正門を挟んで2つあったものが、太平洋戦争で1つ焼失してしまいました。現存しているお長屋は、400年以上の歴史を持つ貴重な建物で、石垣や柱等は当時のまま、垂水小学校の校門脇に保存されています。

